

Q & A

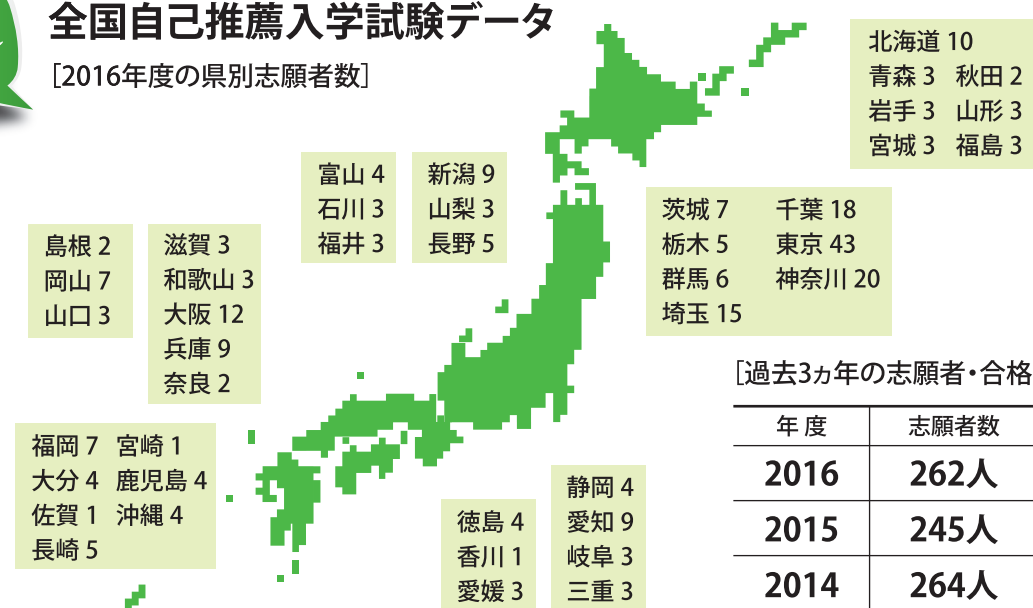
- Q. 1つの都道府県からは、1名しか合格できないのですか？**
A. 目標を「1名以上」としているように、複数の合格者を出すことは大いにあります。一方で、一定の基準を満たす受験生がいらない場合は、合格者なしとすることもあります。
- Q. 卒業見込の者と既に卒業した者のそれぞれに、合格枠を設けているのですか？**
A. いいえ。合格枠を分けず、同じ基準で選考しています。
- Q. 他大学(他学部)や、プロスポーツの入団テストなどと併願することはできますか？**
A. はい。できます。

- Q. 教員免許を取得することはできますか？また、就職状況はどうですか？**
A. 中学校1種「社会」、高等学校1種「地理歴史」、「公民」、「商業」、「情報」の免許が取得できます。また、就職に関しては、当学部のカリキュラムを活かし、マスコミ関係、製造業、商業、金融・保険業、IT関係など、多様な業種に進んでいることが特徴です。
- Q. 出願資格 [4] 中の「その他、学校外での諸活動」とはどのようなものですか？**
A. 高校生活とは直接関係のないもので、学芸系・スポーツ系・ボランティア活動など、あらゆる個人的活動を意味します。過去の出願例として、執筆活動や芸能活動などもあります。

Data

全国自己推薦入学試験データ

[2016年度の県別志願者数]



[過去3カ年の志願者・合格者数]

年度	志願者数	合格者数
2016	262人	60人
2015	245人	61人
2014	264人	61人

●これまでの合格者の優秀活動成績例

生徒会会長、英検1級、TOEIC915点、日商簿記1級、全国高校放送コンテスト優勝、全国高校新聞コンクール優勝、全日本珠算選手権優勝、全国電卓競技大会優勝、競技かるた優勝、全国青年弁論大会優秀賞、エッセイコンテスト大賞、世界囲碁U-20優勝、全国高校囲碁選手権大会優勝、全国高校総合文化祭文部科学大臣賞、同優良賞、全日本吹奏楽コンクール金賞、アメフト全国大会優勝、同都道府県大会1位、ウェイトリフティング全国大会優勝、競泳全国大会6位、弓道全国大会2位、硬式テニス全国大会優勝、硬式野球全国大会優勝、同都道府県大会1位、剣道全国大会優勝、同8ブロック大会1位、柔道全国大会3位、同8ブロック大会1位、少林寺拳法

全国大会優勝、サッカー全国大会優勝、同8ブロック大会1位、スキー全国大会2位、スケート全国大会優勝、相撲全国大会優勝、同8ブロック大会1位、漕艇全国大会6位、ソフトテニス全国大会優勝、ソフトボール全国大会優勝、卓球全国大会3位、ダブルダッチ国際大会優勝、バスケットボール全国大会優勝、同8ブロック大会1位、バドミントン全国大会優勝、バレーボール都道府県大会1位、ハンドボール高校日本代表、フィギュアスケート8ブロック大会1位、フェンシング高校日本代表、ラグビー全国大会優勝、女子ラグビーU-18日本代表、陸上競技全国大会4位、レスリング全国大会優勝 など

お問い合わせ先

早稲田大学社会科学部「全国自己推薦入学試験」係

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL 03-5286-3804／FAX 03-3204-8962
<http://www.waseda.jp/fsss/sss/> E-Mail admissions-socs@list.waseda.jp
 ＜窓口受付時間＞ 月～金／9:00～17:00



2017年度 全国自己推薦入学試験
早稲田大学社会科学部
 School of Social Sciences, WASEDA University



個性を發揮し
 世界へはばたけ！

<http://www.waseda.jp/fsss/sss/>

全国自己推薦 入学試験とは

出身学校(長)からの推薦書を必要とせず、高等学校または中等教育学校後期課程在学中のさまざまな活動歴をもとに、受験生の皆さんが「自分自身を社会科学部に推薦する」入試制度です。

全国で初めて(1989年)、社会科学部が、受験生の“個性”を評価するために創設しました。

それとともに、その名のとおり“地域性”を重視し、できる限り、各都道府県から1名以上の合格者を出すことを目標にしています。

“個性”と“地域性”を二本柱とする「全国自己推薦入学試験」へ、積極的にチャレンジしてください。

社会科学部概要

教員数：172名(非常勤含む)
学生数：男性2,212名
女性 877名
うち留学生141名

社会科学部は1966年、社会科学を総合的・学際的に学ぶことのできる新構想の学部として創設されました。以来培ってきた「学際性」の伝統を活かし、さらなる発展を目指すべく、専門性と総合性とを兼ね備えた、他に例を見ない新しいカリキュラムを用意しています。

＋ α の個性

勉学に励みつつも、それ以外の何かにも取り組んできた人、いわゆる受験勉強に力点をおいてきた人とは一風異なった、「＋ α の個性」を持つ人を対象としています。

地域性重視

異なる地域、文化で育まれた精鋭が全国から集えば、活気が生まれ、互いに刺激しあいながら成長できる――

「全国自己推薦入学試験」は、こうした効果を期待しています。これは、当学部が掲げる“社会に開かれた学部”という理念にもつながっています。

■高校ではどのような活動をしていましたか？

高校2年生の秋から1年間、スコットランドに留学をしていました。留学当初は、現地の英語についていけなかったのですが、学校や滞在先の寮などで積極的に英語でコミュニケーションを取ることで、飛躍的に英語が上達しました。週末にはエディンバラ城などの歴史的建造物を観光したり、ボランティア活動に参加するなど様々な経験を得ることができました。

また、高校1年時に環境を題材にした小論文コンテストで、日常生活における環境問題を取り上げ全国大会で優秀賞をいただいたり、幼少時より続けている書道で段位を取得するなど、どんなことにもあきらめず粘り強く挑戦する高校生活でした。

■早稲田大学社会科学部を志望し、「全国自己推薦入学試験」で受験しようと思ったのはなぜですか？

高校1年時から留学を決めていたのですが、国際化に積極的に取り組んでいる早稲田大学に興味を持つようになりました。そしてオープンキャンパスに参加した際に、社会科学部の模擬講義を受けたことが深く印象に残り、社会科学部で学びたいと考え志望しました。

また、高校3年間は意欲的に様々な課外活動を行っていました。自ら夢中になって取り組んできた活動が評価されることに魅力を感じ、自分を信じて挑戦したいと考え自己推薦入学試験を受験しました。

■実際に社会科学部に入学してみて、どう感じていますか？

入学するまでは、授業は先生の講義を聞くといった受け身の印象があったのですが、実際に授業に出席してみると先生と学生、または学生間で議論を深めたり、対話形式の授業であったりと、より実践的で知識が深まることを実感しています。

また、人文科学分野についてより深く学びたいと考えていたのですが、入学後に受講した法学分野にも興味を持つようになり、学びに対して興味の幅が広がりました。

2年生からはゼミが始まります。社会科学部の学際的なカリキュラムを活かし、自らの専門分野を複合的な視点で学んでいきたいと考えています。

■現在、力を入れて取り組んでいることは何ですか？

早稲田大学公認サークルである早稲田大学フラッシュモ部に在籍しており、そこで渉外担当を務めています。フラッシュモブとは、一般人を装っていきなり踊りだしてサプライズを起こすことであり、“驚きと感動の仕掛人”をテーマに掲げ活動しています。

たくさんの人に驚きと感動をもたらすためには、外部との連携が必要不可欠です。渉外担当はサークルの窓口として外部とのやりとりを任されています。

また、社会科学部の国際交流を促進するイベント企画チーム(SAGAS)に所属していたり、国際コミュニケーションセンター(ICC)でニュージーランドの留学生と互いの言語や文化を理解しあうプログラムにも参加するなど、留学生との交流にも積極的に取り組んでいます。

■将来の目標は？

たくさんの人たちに驚きと感動を届けたいという想いから、映像関係の仕事に興味を持っています。海外にも視野を広げながら、自らの可能性に挑戦していきたいと思っています。さらに、これまで育ててくれた地元にも貢献していきたいと考えています。

オリンピックも控えており、さらなる語学力向上を目指し、これまで培ってきた経験を活かしていきながら、国際交流や地域活性化に繋げていきたいです。

■これからの受験生へ向けて、一言お願いします。

高校生活では留学することにより、世界へと視野が広まりました。このことが、私にとってさらに学んでいきたいという意欲を掻き立ててくれました。大学は学びたいことを学べる環境があり、その中でも社会科学部は自らの学びたいことを深く学ぶことも、様々な分野を学際的に幅広く学ぶこともできます。

まずは自分の生活圏から飛び出してみてください、きっと新しい出会いや経験を通して、学びたいことが見つかると思います。そして、高校生活において必死で何かに取り組んできた人たちに、自信を持って自己推薦入学試験にチャレンジしてもらいたいと思っています。

社会科学部2年
ウエダ マリコ
植田 真里子さん
不二聖心女子学院高等学校 卒業

Interview

出願資格 以下の①～④の「すべて」に該当する者

- ① 2016年3月に高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者、または2017年3月に卒業見込の者。
- ② 2016年3月に卒業した者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における全体の評定平均値が4.0以上の者、2017年3月に卒業見込の者は、1年1学期または前期から、3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。
- ③ 2016年3月に卒業した者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における調査書記載の欠席日数が45日(4年制定時制は60日)以内の者、2017年3月に卒業見込の者は、1年1学期または前期から、3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの調査書記載の欠席日数が45日(4年制定時制は60日)以内の者。

入試スケジュール

7月下旬

入試要項公開(予定) 学部ホームページ(下記)で入試要項の公開を予定しています。
出願書類の作成、活動記録の裏付けとなる資料の収集等には時間がかかるので、余裕を持って早めに入手してください。

9月30日(金)～10月7日(金)

出願(郵送による受付) 入試要項にしたがって出願書類を作成し、郵送で提出します。第一次選考(書類選考)の検定料は10,000円(第二次選考の検定料は25,000円)です。以下の諸点を考慮のうえ、選考します。
●成績評価
●活動記録(大会成績・生徒会活動・学校外での諸活動・資格など) ●出席状況 ●その他

- ④ 高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間の活動において、次の一つ以上に該当する者。
ただし資格に関してのみ、高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間以前に取得したものによる出願も受け付ける。
■学芸系もしくはスポーツ系クラブに所属し、都道府県以上の大会・コンクール・展覧会等において優秀な成績を収めた者。
■生徒会活動において、めざましい活躍をした者。
■資格(語学検定や、財務・会計資格など)を有する者。
■その他、学校外での諸活動(クラブ活動・ボランティア活動等)において、めざましい活躍をした者。

11月11日(金)

第一次選考合格者発表 郵送および入学センターホームページ(下記)で第一次選考合格者を発表します。

11月20日(日)

第二次選考(試験選考) 早稲田キャンパス14号館(予定)で行います。

小論文＋面接

12月9日(金)

第二次選考合格者発表 郵送および入学センターホームページ(下記)で第二次選考合格者を発表します。

12月12日(月)～2017年1月4日(水)

入学手続(一次) 登録料(入学金相当額)および学費等を振り込むことで完了します。※3月中旬に二次手続があります。

▼学部ホームページ▼

<http://www.waseda.jp/fsss/sss/>

▼入学センターホームページ▼

<http://www.waseda.jp/inst/admission/>